現実の選択、現実の生活

気候変動と女子教育：障壁、ジェンダー規範、レジリエンスへの道筋、

要約

*これは報告書「気候変動と女子教育：障壁、ジェンダー規範、レジリエンスへの道筋」の要約である。テクニカルレポートの全文と、それに付随する総合報告書はこちらをご覧いただきたい。

目次

はじめに 1

現実の選択、現実の生活について 3

現実の選択、現実の生活コホート 調査地図 4

本報告書の背景 6

主な調査結果 7

提言 10

エルサルバドルの森にある養蜂場まで何マイルもの距離を徒歩で行くSylvia

©Plan International

はじめに

フィリピンの若きリーダー
©Plan International

「気候変動と女子教育：障壁、ジェンダー規範、レジリエンスへの道筋」は、記録的な猛暑、暴風雨、山火事、洪水、干ばつが地球全域で発生している、前例のない気候危機に見舞われる中で書かれたものである。

本報告書「現実の選択、現実の生活」（RCRL）が概説する8カ国78人の女の子の経験は、この拡大する危機を象徴するものである。本報告書で調査したRCRLの8カ国（ベナン、ブラジル、カンボジア、ドミニカ共和国、エルサルバドル、フィリピン、トーゴ、ベトナム）はすべて、気候に起因する衝撃的な災害の増大に直面しており、その後の影響は社会経済的不平等を悪化させている。RCRLの対象国は、気候危機の不平等な影響を経験している低・中所得国という、広範な事象を映し出す代表的な国々である。

ジェンダーと気候変動に関する調査[1]は十分に確立されているが、女の子自身の言葉による意見や経験に触れる機会はほとんどない。本報告書は、気候変動に対する彼女たちの経験と、それが彼女たちの教育へのアクセスや修了に与える影響を理解するために、世界中の女の子たちから学ぶことによって、この大きな調査ギャップを解決しようとするものである。女の子の体験や観察を通して、気候変動がどのように彼女たちの生活やコミュニティ、そして生計にまで影響を与え、困窮を深め、教育へのアクセスを阻む障壁となっているのかを理解することができる。

同様に、本報告書は、女子教育が、気候変動のレジリエンス（回復力）に関する女の子の見解や、女の子自身の適応能力の支援に与える影響についても理解しようとしている。世界中のさまざまな状況にある女の子の経験、視点、洞察、考察に声を与えていることが、この報告書が寄与するユニークな点である。女の子の声を伝えるというこの独特のアプローチにより、私たちは、気候変動が女の子やその教育、適応能力に与える複雑な影響について、大規模な量的調査からは得られない、はるかに異なる姿を知ることができる。

1. テクニカルレポートのセクション3に含まれる文献レビューを参照のこと。

プランのGBVプロジェクトの祝賀会に出席するトーゴの女子学生
©Plan International

子どもは、気候変動の影響に対して特に脆弱である。世界全体では、約10億人の子どもが、気候危機の影響の極めて高いリスクにさらされている[2]。気候変動[3]が子ども、特に女の子に与える影響は深刻で長期にわたって続く可能性があり、教育へのアクセスや修了で得た成長の成果を逆転させる可能性がある。これは、ここ数十年のジェンダー平等の進展を脅かすものである[4]。思春期の女の子は、女性や子ども一般と同様、年齢やジェンダーによって直面する政治的、社会的、経済的な障壁や不平等のために、気候変動の影響に対して最も脆弱な立場にある。女の子は、教育や保健医療へのアクセスの阻害、暴力のリスクの増大、早すぎる強制された結婚（CEFMU）の増加、経済機会の減少[5]、健康問題への抵抗力の低下を、不平等に経験している[6]。しかし、気候変動の影響を不平等に受けているにもかかわらず、女の子の声や視点が、彼女たちの未来の基盤を形作る意思決定プロセスや政策立案に含まれたり、考慮されたりすることはほとんどない。女の子は、気候変動の影響に直面して自身のニーズに対処するために家族内の決定に参加することで、気候変動への適応[7]にも役割を担っている[8]。だが、女の子は資源へのアクセス、管理、利用、知識が限られているため、適応能力の壁に直面している[9]。

プラン・インターナショナルの根底にあるのは、すべての子どもが、就学前から中等教育レベルまで、質の高い包摂的な教育を受け、修了する基本的かつ普遍的な権利を有するという信念である。だが、多くの文脈における社会規範は、女の子がこの権利を主張し、利用する際に、より大きな支援を必要とすることが多いことを意味する。プラン・インターナショナルは、気候変動が教育と女の子のリーダーシップに与える影響だけでなく、教育と女の子のリーダーシップが、気候正義と社会正義を広範に前進させる可能性について考察している。本報告書では、女の子が日常生活、特に意思決定においてリーダーシップの資質を発揮するあらゆる方法をリーダーシップと定義する。気候変動と、それが女子教育と適応能力に及ぼす影響との複雑な関係を考えると、女の子自身の視点からこれらの問題を理解することが不可欠である。

2. UNICEF (2021) 'The Climate Crisis is a Child Rights Crisis: Introducing the Children's Climate Risk Index'. https://www.unicef.org/reports/climate-crisis-child-rights-crisis にて入手可能。
3. この調査では、気候変動とは、地球大気の組成を変化させる人間活動に直接的または間接的に起因する気候の変化であり、同程度の期間にわたって観測される自然の気候変動に追加されるものと定義している (UNFCCC (1992) 'United Nations Framework Convention on Climate Change'. Available at: https://unfccc.int/files/essential_ background/background_publications_htmlpdf/application/pdf/conveng.pdfにて入手可能。地球上の降水パターンと強度を変化させ、気候変動に関連する災害の頻度と強度を増加させる可能性がある。これには、洪水、干ばつ、地滑り、山火事、熱帯暴風雨、異常気温などが含まれる(Plan International (2021) 'Climate Change, Young Women, and Girls'. https://plan-international.org/uploads/2021/12/ climate_change_young_women_girls_plan_and_sei_final.pdf にて入手可能。
4. Sims, K. (2021) *Education, Girls' Education and Climate Change*, K4D Emerging Issues Report 29. Institute of Development Studies, pp.2-4.
5. Plan International (n.d.) '5 Ways Climate Change is Disrupting Girls' Lives'. https://plan-international.org/case-studies/5-ways-climate-change-is-disrupting-girls-lives/にて入手可能。
6. Plan International (2021) 'Climate Change, Young Women, and Girls'. https://plan-international.org/uploads/2021/12/climate_change_young_women_girls_plan_and_sei_final.pdfにて入手可能。
7. *気候変動への適応*とは、気候変動の影響を和らげる（あるいは恩恵を受ける）ために、個人や集団が行う長期的な変化を指す。
8. Plan International (2021) 'Climate Change, Young Women, and Girls'. https://plan-international.org/uploads/2021/12/climate_change_young_women_girls_plan_and_sei_final.pdfにて入手可能。
9. USAID (2016) 'Integrating Gender Considerations into Community-Based Adaptation in Agrarian Communities in the Lower Mekong Basin'. https://www. climatelinks.org/resources/integrating-gender-considerations-community-based-adaptation-agrarian-communities-lower にて入手可能。

現実の選択、現実の生活について

2007年以来、縦断的かつ質的なRCRL調査プロジェクトは、世界9カ国[10]で女の子とその家族の生活を追跡調査してきた（図1：RCRLコホート調査地図参照）。2023年には78人の女の子[11]とその家族がこの調査に参加しており、2006年の出生以来、女の子の生活、経験、考え方を追跡してきた[12,13]。

この調査は、すべての女の子が18歳になるまでデータを収集し続け、女の子自身とその家族の視点を通して、女の子の生活とその機会に影響を与える社会的、経済的、文化的、制度的要因を記録することを目的としている。この調査では、信念、価値観、期待について質問することで、ジェンダー不平等の根本原因を理解するという明確な取り組みを行っており、ジェンダー化された社会規範や行動がどのように作られ、維持、あるいは時間の経過とともに変化するのかを明らかにすることを目指している。

この調査に関するデータは2007年以来収集されており、女の子のライフサイクルと、彼女たちの人生を形作る選択、決定、現実に関する独特な洞察を与えている。この調査では、教育、健康（性と生殖に関する健康と権利(SRHR)を含む）、飢餓、保護と暴力、女の子の活動と市民的スペースへの参加、女の子がジェンダー規範に挑戦する方法など、膨大な数のトピックとテーマについてデータを集めてきた。

RCRLの中核的な調査方法は、参加型手法に支えられている。これは、調査プロジェクトとプランのコミュニティでの活動に関する決定において、女の子自身が積極的かつ影響力のある役割を果たし、変化と正義に対する女の子の提言が中心に置かれ、増幅されることを意味する。これは、女の子の声に耳を傾けるだけでなく、彼女たちの声がRCRLの目的と成果を形作ることを意味する。

カンボジアの小学校で手を挙げて質問する女の子
© Plan International

10. ブラジルとドミニカ共和国を除けば、女の子のコホートはすべて低所得～中低所得国に住んでいる。ブラジルとドミニカ共和国は、中上所得国に位置する。9カ国のすべての女の子は、それぞれの国の最貧困世帯の中からサンプリングされた。女の子自身はプランの支援を受けていないが、プランの活動地域にいる。

11. プランは、ジェンダーは多次元的な概念であり、人々のアイデンティティや表現に様々な影響を与え、ジェンダー・アイデンティティは「女性」と「男性」という二元的な領域を超えるものであると認識している。本調査の参加者は、性徴に基づき、出生時に女性と割り当てられた。本調査では、「女の子」を包括的な用語として使用する。

12. 今回の報告書の不運な点は、倫理承認取得の遅れにより、ウガンダのRCRL女の子からの新たなデータ収集を含めることができなかったことである。
13. 報告書全文の付録1には、2023年のデータ収集に参加したRCRLの女の子の概要が記載されている。

図1：RCRLコホート調査地図

*ウガンダは、RCRL調査研究の対象9カ国のひとつである。残念ながら、倫理承認の遅れにより、2023年にウガンダで行われたコホートの女の子へのインタビューは実施できず、そのため彼女たちの経験や観点は本報告書に含まれていない。

本報告書の背景

RCRLは、ジェンダーや社会規範が気候変動に影響されやすい家庭の意思決定にどのような影響を与えるか、またそれが女子教育にどのような影響を与えるかを明らかにする独特な進行中の調査である。RCRL調査プロジェクトが、気候変動に対する女の子の経験について話し合う上で独特な貢献のひとつは、毎年彼女たちを再訪し、研究を積み重ねているという、調査の縦断的性質である。これまでの年次データ収集では、気候変動や気象現象に焦点を当てたものはなかったが、RCRLの家族が長年にわたって気象パターンの変化についてどのように観察してきたかを示す、歴史的な証拠がいくつかある。また、RCRL調査プロジェクトは質的で縦断的であるため、女の子たちの気候変動に関する経験や観察を、その生涯にわたって調査するまたとない機会にもなる。

RCRLの女の子の大半は地方の農業地帯に住んでおり、気候変動に関連した特有の課題に直面している。RCRLのコホート全体で、12年という歳月を経るなかで似通った物語を目にしている。それは、予期せぬ天候の変化、収穫量の悪化、世帯収入の減少、生活費の増加、追加の収入源を求める家族などがあげられる。気温の変化や季節の変化は常に予想されることだが、農家が何年も苦労してきたという歴史的証拠は、こうした気象現象が異常であり、明らかに気候変動によるものであることを示している。

プラン・インターナショナルは、協働するコミュニティに気候変動が与える複雑な影響、特に女の子への影響に関する広範な証拠を有している。プランは、効果的な気候変動対策には、軽減、適応、損失と損害の取り組みへの対処と資金提供が極めて重要であると認識している。その活動の中で、プランは、気候変動が子ども、特に女の子、そして特にストレス要因に対処するための資源が最も乏しい、最も脆弱で貧しいコミュニティの子どもに対して不平等に強い影響があることを強調している。気候変動は、現代における最も重要な世代間公平の問題であり、子どもや将来の世代が地球への影響の矢面に立たされている。プランは、年齢、ジェンダー、貧困によって、気候変動の影響を受けやすくなる子どもがいることを認識している。凝り固まった社会的規範やジェンダー規範は、行動を規定し、移動や権利へのアクセスを制限し、女の子やユースの不確実性に対処する能力を低下させる。年齢とジェンダー差別の複合的影響によってもたらされる気候変動に対する女の子特有の脆弱性は、女の子の権利に深刻な影響を与えている。気候変動は、既存の不平等を拡大し、保健、SRHR、教育、参加、保護へのアクセスの不平等さを拡大している。

井戸が枯れる前に水を汲むため、5時半に起きるカンボジアの思春期の女の子
©Plan International

気候変動と教育の関係を認識し、プランは、気候変動への世界的な対応に不可欠な要素として、質の高い、包摂的なジェンダー・トランスフォーマティブ教育を推進している[14]。女子教育は、気候変動によって深刻な影響を受けているが、実は気候危機に対処するための重要な解決策でもある。教育は、女の子が気候正義を要求し、それに貢献する革新者、リーダー、変革者となるために必要な知識、技能、能力を身につける上で、重要な役割を果たす。

14. Plan International (2019) 'Climate Change: Focus on Girls and Young Women, Plan International Position Paper'. https://plan-international.org/publications/climate-change-focus-on-girls-and-young-women/ にて入手可能。

主な調査結果

気候変動で中断される女子教育

RCRLの女の子が共有した洞察や経験は、気候変動と女子教育との複雑な関係について、私たちにリアルな洞察を与えてくれる。RCRLの女の子が共有した話や経験は、気候変動が質の高い教育へのアクセスや修了に影響を与えていることを示している。異常気象、学校インフラの損害や破壊、通学困難など、直接的な影響によって女子教育は中断されている。フィリピンでは、（教師が携帯電話で課題を送ったり、代わりの授業を手配したりして）勉強に追いつくことができると報告する女の子もいるが、他のコホートの女の子のほとんどは、気象現象（とそれに伴う清掃活動）のために学校を休み、学校の授業を受けられなくなっている。女の子が学校を休む期間が長ければ長いほど、復学する可能性は低くなり、CEFMU、ジェンダーに基づく暴力(GBV)、早期の意図しない妊娠など、有害な慣行や搾取の犠牲になる可能性も高くなる。このことは、女の子にとってより安全な学習環境が必要であること、そして教育部門が災害リスク軽減計画と教育継続戦略を策定し、危険やストレスに直面した際の学習の中断を抑える必要性を浮き彫りにしている。

「天気予報で暴風雨や洪水が発表されると、学校は生徒に通知し、保護者にメッセージを送り、学校は休校を発表します。洪水が起こった後は、みんなで学校に行って片付けをします。つまり、洪水が起こるたびに、全クラスが片付けを担当し、翌日、生徒全員が学校に行って片付けをするのです。」

Kim（16歳、ベトナム）

「大雨が降ると、市場の屋根は壊れ、道路は冠水し、子どもの通学は困難になります。電柱も倒れます。」

Catherineの母（ペナン）

多くの女の子は、気候変動が教育に及ぼす間接的な影響についても述べている。収穫の悪化、漁獲量の低下、水不足は、RCRLの女の子たちが語る間接的な影響の一例である。生計を農業や漁業に依存している世帯やコミュニティにとって、こうした間接的な影響は、生計の喪失、生活費の増加、市場価格の上昇、困窮の深まりにつながる。こうした経済的な圧迫は女子教育にも影響を及ぼし、学費や教材費、通学費を捻出できない家庭も出てきている。また女の子は、家計に貢献するために、有給の仕事を引き受けたり、家事や世話役を担ったりすることも求められている。トーゴのLarbaは、学費を払うためにアルバイトに就いたが、気候変動に関連した生計手段の喪失と生活費の高騰により、彼女の両親はもはや学費を払う余裕がない。Larbaは、週末は畑仕事をしており、勉強する時間は夜になってからしかないため、学校の授業時間外に勉強する時間が十分にないと感じている。Larbaのケースは、生計を維持し、女子教育が妨げられないようにするための社会的保護の必要性を示している。

「義父は漁師なんです。釣りに行って、何も捕まえられずに帰ってくることもあるけど、以前はよく行って（たくさんの魚を）持って帰ってきました。今日、彼が釣れるのはせいぜい1匹か2匹です。」

Rebecca（16歳、エルサルバドル）

「土地に頼っている人たちは大変です…水に頼っている人たちは、漁をするのが大変です…お金があれば、市場で買うことができるので問題ないのですが、あまりお金がないと、暑いので、自力で食料を探すのも大変です。」

Leakhena（16歳、カンボジア）DIA)

このような直接的・間接的な障壁はジェンダー不平等を悪化させ、家計が不安定になると女子教育は優先されなくなり、その結果、家族はCEFMUのような否定的な対処メカニズムに頼ることになる。ベトナムでは、女の子の方が家事を手伝えるので、親は息子よりも娘に学校を辞めさせたがる、とUyenは言う。Uyenはこれを「不公平」で「理不尽」だと感じている。これは、女子教育がどう評価されるかを変えるために、社会規範を変える必要があることを浮き彫りにしている。

「私は家を出て、商売を学んだ方がいいと思いました…両親はもう学費を払ってくれません。だから、両親の出費の負担は減りました。」

Nini-Rike（16歳、トーゴ）

「たいていの親は勉強を優先しません。母親に用事があると、女の子を学校に行かせなくなり、1回なら何とも思いません。でも、それが週に3回も続くと、女の子は学校への愛情を失ってしまうのです。」

コミュニティメンバー（ドミニカ共和国）

「将来の教育は、家庭により良い収入をもたらします。そして、親は子どもに影響を与えることなく、自分たちの収入を向上させるよう努めるべきです。」

Gladys（16歳、エルサルバドル）

ブラジルで起業したAlice
©Plan International

教育は女の子が気候変動への適応とレジリエンス（回復力）を与える

本報告書はまた、女子教育と気候変動への適応力レジリエンスとの間に重要な関連性があることを示している。適応能力には、気候変動を認識し理解する能力と、適応の選択肢に触れることが必要である。RCRLの女の子から得られた証拠は、彼女たちが気候変動と気候適応に関する情報のほとんどを教育から得ていることを示している。女の子の多くは、リサイクル、植樹、ユース集団行動グループへの参加、啓発活動など、学校で学んだスキルを活用している。このような個々の行動は、女の子が日常生活の中でリーダーシップと主体性を発揮していること、そして女の子が主体性とリーダーシップを構築するための技能、知識、能力を身につける上で教育が重要な役割を果たしていることを示している。

「生産物で損をして、私が授業を休んだり、悪天候で農作物が被害を受けて、食べるものがなかったりすることがどんなことか、農家の娘として、また自分自身も若い農家としてよくわかります。同胞のユースたちがこのことを知ることは、今あるものに感謝し、資源を正しい方法で利用し、自然にも感謝することを学ぶために重要なことなのです。」

Reyna（16歳、フィリピン）

「古い車のタイヤをリサイクルしたり、水筒を何度も再利用したりするのが好きです。学校で友達と一緒に木を植えることもあります。食器洗いや洗濯で余った水は、いつも農作物の水やりに使っています。毎月の英語の授業料のために節約しています。電気の使用時間を制限して、毎日節電しています。家族や友達にも、天気の変わり目には気をつけるようにいつも言っています。」

Davy（16歳、カンボジア）

教育は、女の子の個人レベルでの適応努力の鍵であり、彼女たちの気候変動に対する回復力の重要な要素である。しかし、女の子の多くは、気候変動教育のレベルに不満を表明しており、家庭やコミュニティで気候変動に対処するには不十分と考えている。

ブラジルの一部のRCRLコミュニティのメンバーは、気候変動に関する学校のカリキュラムが不足していると考えており、また教師の気候変動に関する知識レベルや、このトピックについて指導する能力があるかどうかについて懸念を表明している。フィリピンのRosamieは、気候変動のカリキュラムが生徒のニーズを十分に満たすものとなるよう、彼らをカリキュラム作成に参加させるよう求めている。これは、気候変動に関する内容を教育カリキュラムに組み込む改善と、気候変動への適応への準備を確実にするための女の子の参加とリーダーシップの必要性を示している。そうすることで、最終的に、女の子個人の気候変動への対応に見られるリーダーシップの資質が高まるのである。

「私の住む自治体で、教育関係者に気候変動の現実について、それぞれの居住区で研修をしてもらいたいです…専門学校は、学校経営陣から教師まで、最新の情報を持っていません。」

コミュニティリーダー（ブラジル）

「十分ではありません。私は、気候変動がもたらしうる被害や、気候変動が生み出す多くの事柄について学ばせてほしいのですが、学校の授業では深く掘り下げては教えてくれません。」

Annabelle（17歳、ベナン）

女の子は、気候変動と適応戦略に関する知識に自信を持っており、気候変動に対するレジリエンス（回復力）について提言をする意欲と能力を持っている。提言する自信も能力も、気候変動問題に関する教育によって形成されている。気候変動の将来について、女の子の何人かは、政府、学校、コミュニティがもっと行動を起こすことを望んでいる。彼女たちは、農業とインフラ、学校のカリキュラムと備え、気候変動対策におけるコミュニティリーダーシップ、政府の政策に関連する提言を行っている。Sharina（ドミニカ共和国）は、政府は気候変動への適応にユースの参加を促し、こうした問題に取り組むユースグループを奨励すべきだと主張する。コミュニティの変化に関する女の子たちの提言は、システムレベルの適応策に対する責任が、彼女たちだけにあるのではないことを認識していることを示している。

あるベトナムの女の子はコミュニティのリーダーだ

©Plan International

「私の行動だけでは（気候変動を）解決することはできません。」

Juliana（16歳、ブラジル）

「将来、気候変動がなくなり、人びとが安全のためにそれを防ぐための知識を得ることを願っています。」

Jocelyn（17歳、フィリピン）

本報告書の貢献は、気候変動の経験、コミュニティで観察した影響、気候変動が彼女たちの教育に与えた影響、気候変動適応の選択肢に関する知識、個人レベルや家庭レベルで気候変動への対応について意思決定する際のリーダーシップについて、女の子の見解や視点を実例として示すことである。この報告書は、女の子自身の言葉で、彼女たちの見解や経験を述べている点が特徴である。このような貴重な洞察により、私たちは、気候変動が女の子、彼女たちの教育、そして彼女たちの適応能力に与える複雑な影響について、はるかに異なる「実生活」の姿を知ることができる。

提言

提言は、RCRLの女の子自身、その家族、より広いコミュニティメンバーからのアイデア、意見、提言を含め、調査結果から直接作成された。これは彼女たちが共有した話や経験を通じて明らかになった、彼女たちの気候変動の経験と、それが彼女たちの教育に与えた影響、そして、彼女たちの教育に対する障壁を反映したものである。また、以下の提言は、より安全な学習施設、学校の安全と教育継続の管理、リスク削減と回復力教育の必要性を強調する「包括的学校安全枠組み」[15]を指針としている。

01 安全な学習環境と学校の備え

文部省、環境省、財務省、気象庁は、あらゆるレベルで次のことを協力する必要がある:

- 異常気象や気候ショックに耐えられるよう、学校インフラや通学路の回復力を強化するための投資を優先する。
  - 洪水や損害の影響を受けにくい気候変動に強い道路の建設や維持管理など、学校への安全なアクセスに投資する。
- 包括的学校安全枠組みに沿って、ジェンダーに対応した学校安全方針と計画を策定し、資源を提供し、実施し、監視する。これには以下が含まれる:
  - 子どもや女の子特有の脆弱性と適応能力を認識し、考慮したジェンダーと年齢に対応したリスク評価に基づき、学校の災害リスク軽減(DRR)計画を策定する。このような評価と計画は、子どものニーズが満たされるよう、子どもと共同で策定されるべきである。
  - 教育に関連する損失や損害のデータが細分化され、ジェンダーや年齢に対応したDRRや適応計画に反映されるようにする。
  - 天候により学校へのアクセスが途絶えた場合でも、状況に応じて適切な方法で学習を継続できるよう、教育継続計画に投資する。これには、e-ラーニングや代替学習場所の利用が含まれる。
  - 教育政策、計画、行動のあらゆるレベルにおいて、包摂的でジェンダーに対応した予測行動に資金を提供し、実施する。予測されるショックやストレスが、子どもの教育へのアクセスに与える影響を軽減するために、危機に先立ち予測行動をとる。教育省や学校がタイムリーな水文学的データ、予測分析、脆弱性データにアクセスできるようにし、リスクのあるコミュニティが事前に合意した予測行動をとるよう、学校に情報を提供し、資金を提供する。
- 子どもが平等に学校教育を受けられるよう、子どもにとって重要なサービスに投資する。これには、学校給食プログラム、授業料や学用品に対する財政支援、子どもにとって安全な通学手段、性と生殖に関する健康、精神衛生サービスなどが含まれる。
- 指針として、子どもはDRRと適応計画の策定、実施、監視に参加する機会を平等に持つべきである。子どもは、主体者として、権利保持者として、損失や損害、適応、学習の継続に関する意思決定への積極的な参加者として認識されるべきである。

15. GADRRRES (2022) 'Comprehensive School Safety Framework 2022-2030'. https://www.gadrrres.net/ にて入手可能。

02 気候変動カリキュラムの改善

文部省は環境省とともに次のことを実施すべきである

- 証拠と科学に基づき、状況に則した、ジェンダー・トランスフォーマティブかつ包摂的、年齢も考慮した、先住民族の知識と権利を包含する気候変動教育を義務付ける。
- ジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチをカリキュラム改革に取り入れる。規範や態度を変え、子どもが自身を取り巻く世界について考えるように教える方法へシフトするために必要なスキルを構築していく。ジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチをカリキュラム改革に取り入れる。気候変動カリキュラム改革への全体的で体系的な姿勢は、学習者に、さまざまな脆弱性と適応能力を形作っている交差する社会的不正義についての理解を身につけさせるべきである。
- 気候変動に関する教員研修に投資する。研修コースに気候変動に関する包括的なモジュールを義務付け、資金を提供し、教員に最新の信頼できるデータと事実へのアクセスを提供し、変革的な気候変動カリキュラムの効果的な実施を支援する継続的な専門能力開発プログラムを提供する。

学校は次のことを実施すべきである

- 気候変動への適応スキルや環境保護行動において、子どもや女の子が集団行動を展開できるよう支援する行動指向の学習を推進する。具体的には、植林活動や、菜園づくり、政府への手紙の執筆、リサイクル活動の実施など。
- 具体的かつ状況的なニーズに適切に対応する行動指向の学習計画の策定において、女の子を含む子どもの有意義な参加を確保する。
- 気候変動への適応を促進するために、女の子がリーダーシップ能力を発揮し、実践する機会（学校のクラブなど）を提供することにより、女の子の気候変動に対するリーダーシップ能力の育成を支援する。
- あらゆるレベル（地方、国、地域、世界）における気候変動の意思決定プロセスについて、また、若いリーダーとしてこうしたプロセスにどのように関与できるかについて、女の子を教育する。

トーゴ、カラ地方の思春期の女の子
©Plan International

03 気候変動への適応と教育のための環境整備

政府は次のことを実施すべきである

- 教育へのアクセス、回復力、継続性を含む、組織の基本方針、戦略、適応計画、ガイダンスノートを見直し、更新する。
- ジェンダーと子どもに対応し、回復力と気候変動への適応を優先した教育部門計画を策定または更新する。子どもやユースを、教育部門の計画や予算の策定に、有意義に参加させるべきである。
- 気候変動カリキュラムの開発、提供、評価を含め、気候変動に対処する教育政策の実施と監視のための資金を増やす。
- 気候変動に強い開発を推進する。そのためには、国が決定する貢献と国家適応計画に気候教育が盛り込まれるよう、主要アクターとしてユース主導の組織の参加を強化する。
- 子どもやユースが、あらゆるレベルの気候変動に関する意思決定に関与できるような環境を整える。そこでは、彼らの意見や提言が尊重され、評価され、意思決定に影響を与える実際の機会が与えられる。
- 突発的な気候変動や災害が発生した場合の損失と損害に対する融資は、その直後の救済にとどまらず、遅れて発生する災害の影響を受けた子どもを含め、長期的な回復力を構築するものであるべきである。損失と損害のための資金には、異常気象によって破壊された学校のインフラを再建するための資金を含めるべきであり、より堅牢で、気候変動によるダメージに耐えられる建物が再建されなければならない。
- 損失と損害に対する融資は、教育を含む、子どもに不可欠な社会サービスに充てられるべきである。
- 損失と損害への対応は、気候危機が異なる子どものグループに与える具体的な影響を把握するために、既存の不平等と細分化されたデータに基づいたものでなければならない。教育に関連する損失と損害のデータ（例えば、失われた就学日数）は、ジェンダー、年齢、障害の有無によって細分化すべきである。
- 特に適応と損失と損害に関連する気候変動資金の配分を増やし、子どもたちが質の高い、ジェンダー・トランスフォーマティブ気候教育へのアクセスを確保し、強靭な教育システムを構築する。
- 子どもと女の子の権利が損失と損害の資金調達の指導原則となるようにする。
- 代替生計への投資と、損失および損害への資金提供による適応格差の是正により、社会的保護を強化する。気候変動資金は、特に適応と損失および損害に対して、主に補助金の形で提供されるべきである。損失と損害に対する資金は、分散化され、子どもの状況による気候変動への脆弱性に対応したものにすべきである。

コミュニティリーダーは次のことを実施すべきである

- 広く、特に気候変動適応に関連して、女の子の教育、参加、リーダーシップがどのように評価されるかについて、社会規範の変革への取り組みを促進する。
- ジェンダーに対応したコミュニティ適応計画を策定し、気候変動に関連した生計の損失に直面している世帯に対するコミュニティレベルの財政支援のための基金を提供する。
- コミュニティメンバーの脆弱性のレベルや気候変動ショックへの対応能力の違いの一因となっている交差する社会的不平等を考慮し、ジェンダーや年齢に応じた災害対応計画を策定する。
- 植林、リサイクル、その他の家庭やコミュニティレベルの行動など、集団的な環境保護行動に関する気候変動への認識と行動変容を促進する。

気候スマート農業プロジェクトの一環として、田植えを行ったフィリピンのユースたち

©Plan International

謝辞

RCRL調査プロジェクトに協力してくれた、ベナン、ブラジル、カンボジア、ドミニカ共和国、エルサルバドル、フィリピン、トーゴ、ウガンダ、ベトナムの女の子、家族、コミュニティの人びとに、心から感謝申し上げる。長年にわたる彼らの見識と時間がなければ、この調査は不可能であった。

本報告書のデータ収集は、各国事務所が監督・実施しており、そのプロセスに携わってくださった多くの方々に感謝する。特に、本調査のフォーカル・ポイントに感謝の意を表したい：ベニンのRoland Djagaly、ブラジルのAna Lima、カンボジアのVannara Ouk、ドミニカ共和国のOlga Figuereo、エルサルバドルのYesenia Segovia、フィリピンのManny Madamba、トーゴのJoseph Badabadi、ウガンダのDavid Aziku、ベトナムのTrung Truong Vu。

本報告書は、Dr Keya Khandaker、Dr Kit Catterson、Emily Jayne Bruceによって執筆された。

本報告書および提言に対する以下の方々のフィードバックに深く感謝する：Rilian Agunos、Jessica Cooke、Jacqueline Gallinetti、Isobel Fergus、Jennifer Merryweather、Chanju Mwanza、Yona Nestel、Kristen Ostling、Brigitte Redrum、Kathleen Sherwin、Dr Rosie Walters。

2021年以降、この調査はカナダ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、アイルランド、スウェーデン、スイス、イギリスのプラン国事務所から寛大な資金提供を受け、プラン・インターナショナル・グローバルが管理している。2021年以前は、この調査はプラン・インターナショナル・イギリスが管理し、資金を提供していた。

編集者：Dr Camille Thomas

表紙の写真：コミュニティでユースリーダーとして活躍している中央アメリカに住むYoselin©Plan International

レイアウト：Out of the Blue Creative Communication Solutions – www.outoftheblue.co.za

プラン・インターナショナルについて

私たちは、世界中の女の子のために子どもの権利と平等を推進するために努力している。私たちは、子ども一人ひとりの力と可能性を認めている。しかし、それは貧困、暴力、排除、差別によって抑圧されがちである。そして最も影響を受けているのは女の子なのだ。

独立した開発・人道支援団体として、私たちは子どもやユース、支援者やパートナーとともに、女の子やすべての弱い立場の子どもが直面する課題の根本原因に取り組んでいる。生まれてから大人になるまで子どもの権利を支援し、子どもが危機や逆境に備え、対応できるようにする。私たちの活動範囲、経験、知識を活用し、地域、国、世界レベルで実践と政策の変革を推進する。85年超にわたり、子どものために強力なパートナーシップを構築し、80カ国超で活動している。

Plan International
International Headquarters
Dukes Court, Duke Street, Woking,
Surrey GU21 5BH, United Kingdom

Tel: +44 (0) 1483 755155
Fax: +44 (0) 1483 756505
E-mail: info@plan-international.org

plan-international.org

Published in 2023. Text © Plan International

facebook.com/planinternational
twitter.com/planglobal
instagram.com/planinternational
linkedin.com/company/plan-international
youtube.com/user/planinternationaltv